

知れば本当に怖い歯周病!!

お口の中の二大疾患として、1つは虫歯、もう1つは歯周病が上げられます。どちらもプラーク(歯垢)によって引き起こされます。虫歯はプラークにより歯が溶ける病気ですが、歯周病は歯のまわりの組織である歯肉、歯槽骨などの病気です。お口の中に細菌が定着すると、炎症が起こり、歯肉が赤くなったり、腫れたりし、歯槽骨が吸収して最終的には歯が脱落する事もあります。

以前は、歯周病はお口の中だけの病気だと考えられてきました。しかし、1990年代の後半以降、歯周病が全身疾患や全身の状態に影響を及ぼすことが明らかになり、全身の健康を守るためにもお口の

知っていますか？歯周病と全身疾患の関わりを



健康が重要であると認識されるようになってきました。では、なぜ歯周病になると全身の健康まで脅かされるのでしょうか？歯周病菌によって歯周組織に炎症が起き、深い歯周ポケットが形成されるような状態になります。その歯周ポケットと呼ばれる溝から生体内に侵入した細菌そのものや細菌由来の病原因子に加え、炎症の場で作られる物質が歯肉の血管を通じて血液に流れ込む。これが全身の組織や臓器に何らかの影響を与えたとされています。

歯周病が影響すると言われる疾患は糖尿病や心疾患、誤嚥性肺炎などで、珍しい病気ではありません。そして、日本人の成人8割は歯周病と言われています。

健康が重要であると認識されるようになってきました。ほとんどの方が歯周病による全身疾患のリスクを抱えているといっても過言ではないのです。お口の健康は全身の健康にも繋がっているのです。

健康ブームの今、お口の中も見直してみたいかがでしょうか？

歯周病チェック

右のような症状の方は「歯周病」の可能性があります。



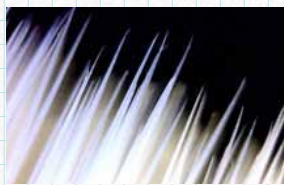
患者様・ご家族様への今月のお願い

医療・介護費の口座引落を西日本シティ銀行のみですが行っております。大変便利ですので、ご要望の方がいらっしゃいましたら当院までご連絡ください。

スタッフ編集後記

日中はもう真夏かと思うくらい暑くなり昼夜の寒暖の差で具合が悪くなっている僕です。嫁は暑がりです。寒い夜に窓全開で扇風機を回すので寒くてたまりません。最近扇風機の電源をどう嫁にばれずに切れるかが僕の毎日のテーマになりつつあります。真夏になるとエアコンが冬かというぐらいの温度で部屋は真冬状態、外に出ると真夏状態。僕の体が寒暖の差で休まるのは冬ぐらいです。ここ4ヶ月ぐらいはしっかりと気合いを入れ体調管理を行い、頑張っ行って行かなければと思います。皆さんも寒暖の差で暑くないのに熱中症になる恐れもあるので気をつけて6月をお過ごしください。

口腔ケア用品の商品紹介



先細毛の歯ブラシ

「Ci700」

100円

歯周病の原因でもある細菌が好む場所は歯と歯茎の境目にある歯周ポケットです。日常の歯磨きの際にいかにポケットの中に歯ブラシの毛先を入れて磨けるかが重要になります。ですが歯の形や歯並びは人によって様々で、ポケット内に毛先を上手に入れて磨くことは容易ではありません。難しいからしないでは歯周病が進行するので歯ブラシの特徴を生かして効率的に磨きましょう。先細毛歯ブラシの毛先を拡大すると先が尖ったように細くなっており、歯周ポケットに対し45度の角度で細かく振動させるように動かすと歯周ポケットの中に毛先がしっかりと入っていきます。健康な歯肉のポケットは2~3ミリです。ポケット底まで歯ブラシの



毛先を入れて中の汚れをかき出すように磨きましょう。歯周病でポケットが深くなっている場合は毛先が届く所に限界がありますので、定期的に歯科受診してポケット内のお掃除をしてもらいましょう。